

本館

中国陶磁の 植物文

shokubutsumon

— 清雅と繁栄の象徴 —

2023年

9.20(水) 》 12.10(日)

新館

アナトリア 絨毯の植物文

豊穰のイメージ

休館日

毎週月曜日
(10月9日の月曜は開館・翌火曜閉館)

開館時間

午前10時～午後4時30分
(入館は午後4時まで)

入館料

大人 / 800円
大学・高校生 / 500円
中学・小学生 / 250円
(上記各団体20名以上2割引・65歳以上500円)

【お問い合わせ先】
〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1
TEL / FAX : 078-851-6001



本館

中国陶磁の植物文

shokubutsumon

— 清雅と繁栄の象徴 —

白鶴コレクションより、中国の陶磁器を彩る植物文を中心に紹介をしながら、作品の特徴を捉えていく展示とします。

中国陶磁には吉祥を表す文様が数多く描かれます。常緑の松は長命を寿ぐ象徴として、描かれてきた図像でしょう。植物文のなかで柘榴の実や唐草文なども繁栄を願う文様です。その他、時代を超えて描かれてきた富貴な牡丹や清廉な蓮、清雅な文人を表す梅など。中国陶磁器の各作品から植物文様の装飾性とイメージをみていきます。



唐三彩荷葉飛雁文盤
唐時代



青磁浮牡丹文香炉
南宋時代



金欄手寿文大鉢明
明時代



キルシェヒール、アナトリア中央部
19世紀初期



ニッジェまたはバンディルマ、アナトリア
19世紀後期

新館

アナトリア絨毯の植物文

—— 豊穡のイメージ

アナトリア絨毯の植物文といえば、チューリップやカーネーションが思い浮かびます。華やかな花文に加え、様々な花をつける生命樹が絨毯によく描かれる図像としてあげられますが、豊かな自然こそ、楽園の象徴です。絨毯に描かれた花文を中心に、生命力あふれる植物文を観察していきましょう。

講演会 (聴講定員50名)

「中国陶磁にみる蓮花の系譜」
日時：11月26日(日) 14時～15時30分
講師：
大阪市立東洋陶磁美術館館長 守屋 雅史 氏

新館レクチャー (聴講定員50名)

「トルコ絨毯の歴史と文化」
日時：12月10日(日) 14時～15時
講師：
トルコ・イスラーム美術史専門家 奥村 純代 氏
(SOAC Art Consultancy & Curation)

文化財特別講座「漆を知る」 (聴講定員50名)

日時：11月5日(日) 14時～15時30分
14時～14時50分 講義「漆造りからみえてくる私たちの生活と文化」
15時～15時30分 実技「お箸塗り体験」(実技定員24名)
講師(講義・実技指導)：
漆精製師 堤 卓也 氏(株)堤浅吉漆店 専務取締役

大学生ワークショップ (随時5名/定員20名)

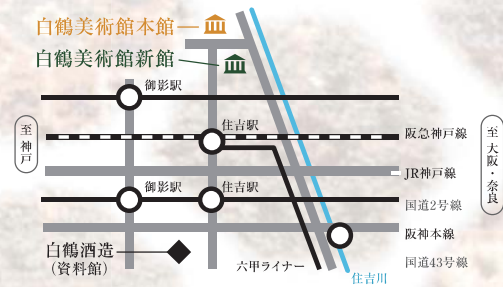
「ふわふわクルクル 綿から糸へ!」
日時：11月12日・19日・26日、12月3日(各日曜日)
13時30分～15時30分
指導員：甲南大学大学生

アート・トーク (聴講定員50名)

「中国陶磁の植物文」
日時：12月9日(土) 14時～15時30分
講師：当館学芸員

スライド解説 (聴講定員50名)

「展示品のみどころ」
日時：10月22日、11月19日(各日曜日)
14時～15時
講師：当館学芸員



公共交通機関でお越しの場合

- 阪神本線「御影駅」、JR神戸線「住吉駅」から市バス38系統 渦森台行き「白鶴美術館前」下車
- 阪急神戸線「御影駅」から北東約1km(徒歩15分)

お車で越しの場合

- 阪神高速道路3号神戸線 大阪方面「魚崎出口」から約1.5km
 - 阪神高速道路3号神戸線 姫路/明石方面「摩耶出口」から約6km
- *無料駐車場あり(大型バスも可)

《お問い合わせ先》

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1
TEL/FAX: 078-851-6001

公益財団法人
白鶴美術館
HAKUTSURU FINEART MUSEUM

予告

祝! 白鶴美術館開館90周年

2024年5月、当館は開館90周年を迎えます。記念展として、春季の部(3月2日(土)～)では白鶴コレクション名品展を、秋季の部では創立者嘉納治兵衛(1862-1951)の業績と、これまでの美術館展示を回顧します。